

## 《クラブの使用方法について》

平成25年1月15日

ボールを打つときのクラブの使い方について、次のように取り扱うこととしましたので、改正理由をご理解のうえ、安全なプレーを心掛けてください。

(これまで)

ボールは、クラブヘッドのどこを使って打ってもよい。

(これから)

ボールは、クラブヘッドの「打面」で打つこととし、ホールポストの近く、あるいは狭い場所などの止むを得ない場合に限り、クラブヘッドのどこを使って打ってもよい。

(改正理由)

最近、グラウンド・ゴルフが誕生した当時には想定していなかったクラブヘッドの「厚み面」(縦面の部分)を使って長い距離を打つプレーが多く見られるようになりました。

日本協会は、ボールは本来「打面」を使用して打つことを想定し、用具標準規則において企業に「打面」の強度検査を求めています。従って、「厚み面」での強打は用具標準規則上から大きな問題があります。加えて、「厚み面」で打つのはボールの芯を捉えるのが難しく、ボールが思わぬ方向に飛んだり、空中に上がったりする可能性があります。プレーの安全性からも看過できません。

そのため、今回、用具の安全管理やプレーヤーの安全確保・事故防止の観点から、クラブの使用方法を改正することとしました。

〈クラブ〉

